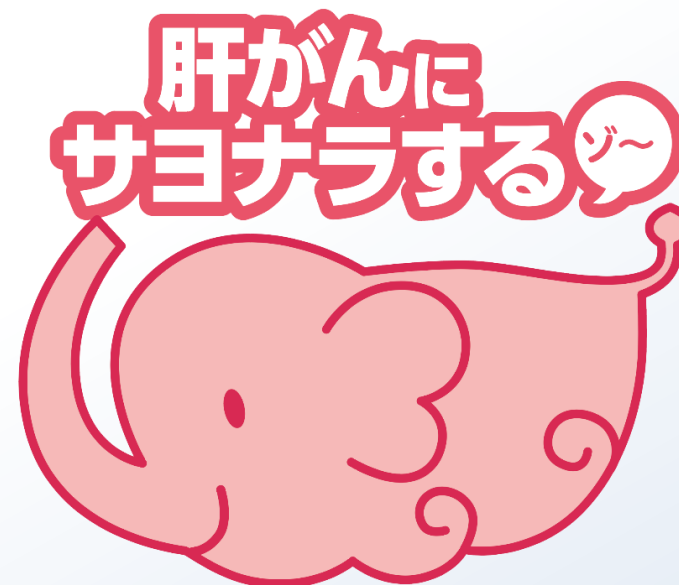


①地方公共団体肝炎ウイルス検査陽性者受診状況（確認と工夫）  
②病院内肝炎ウイルス陽性者受診促進（眼科医会との連携）

令和6年度肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究(23HC0101)成果より



↑ 肝炎情報センター(肝炎・免疫研究センター内)

↑ 研究班イメージキャラクター:かんゾ〜ちゃん

2024年(令和6)年10月11日 10時~12時 (発表時間 15分)

国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター肝疾患研修室長 是永匡紹

# COI 開示

発表者名: 是永 匡紹

所属機関名: 国立国際医療研究センター

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある  
企業等はありません。

# お伝えしたいこと① 肝炎ウイルス検診・検査陽性者受診状況（確認と工夫）

## 背景・課題

- 肝炎ウイルス検査を受けて陽性と判明した方（陽性者）を受診→受療につなげることは重要であり、未受診者へのフォローアップが急務。  
※ 例えば、検査結果のみでは25%しか受診していないが、未受診者に受診を勧奨することで、さらに45.8%が受診（職域健診の例）
- 一方で、地方自治体が実施する陽性者のフォローアップにおいては、陽性者からの受診状況の報告が十分ではなく、受診率を正確に把握できていない。

## 研究班の取組み

- 川崎市においては、陽性者へ調査票の送付と、返信がない者への架電によりフォローアップを行っていたところ、未確認者が増加傾向にあることから、受診状況をより正確に把握するため、以下の取組みを実施。
  - ・ 肝炎ウイルス検査の申込時に、陽性だった場合には受診状況を確認することを、あらかじめ同意を得ることとした
  - ・ 受診状況の確認方法として、調査票の返信に加えて、QRコードを用いたWebでの回答方法を導入した
  - ・ 川崎市から検査を委託した医療機関に受診を直接確認することとした

# お伝えしたいこと② 病院内肝炎ウイルス陽性者受診促進（日本眼科医会との連携）

## 背景・課題

- 医療機関での肝炎ウイルス検査（手術前検査等）において陽性が判明した方を、適切に専門医の受診へつなげていくことが重要。
- 一般的に手術件数を反映して、眼科、整形外科での肝炎ウイルス検査数が多く、対象年齢構成から陽性率も高いことが判明したため、まずは、これらの科にアプローチしていくことが急務。

## 研究班の取組み

- 日本眼科医会と連携し、以下の取組みを実施
  - ・ 日本眼科医会会員にアンケート調査を行い、眼科医等が活用しやすい患者への説明用資材として、受診勧奨・陽性者のためのリーフレットを作成
  - ・ 眼科スタッフを肝炎医療コーディネーターに養成が受診率に与える影響を分析 等

**地方公共団体実施主体  
肝炎ウイルス検診・検査陽性者受診状況（確認と工夫）**

# 職域健診HCV抗体陽性278名の受診行動（協会けんぽA支部医療記録より） ～検査結果のみでは25%しか陽性者は受診しない→肝がん症例も有→再勧奨が必要～

陽性者：338名\*

除外：加入脱退・別支部60名(18%)

レセプトで把握可能であった陽性者：278名

陽性判明後3か月以内受診者：72名(25.8%)

非受診者に受診勧奨（郵送）

\* 肝がん 1名：手術

再勧奨後6か月以内受診者：127名（45.8%）

\* 肝がん 1名：手術

医療機関受診者 199名(71.5%) ⇒ DAAs 66名(33.1%)

# 背景1:がん検診・肝炎ウイルス検査/検診の要精密検査率・精密検査受診率は？

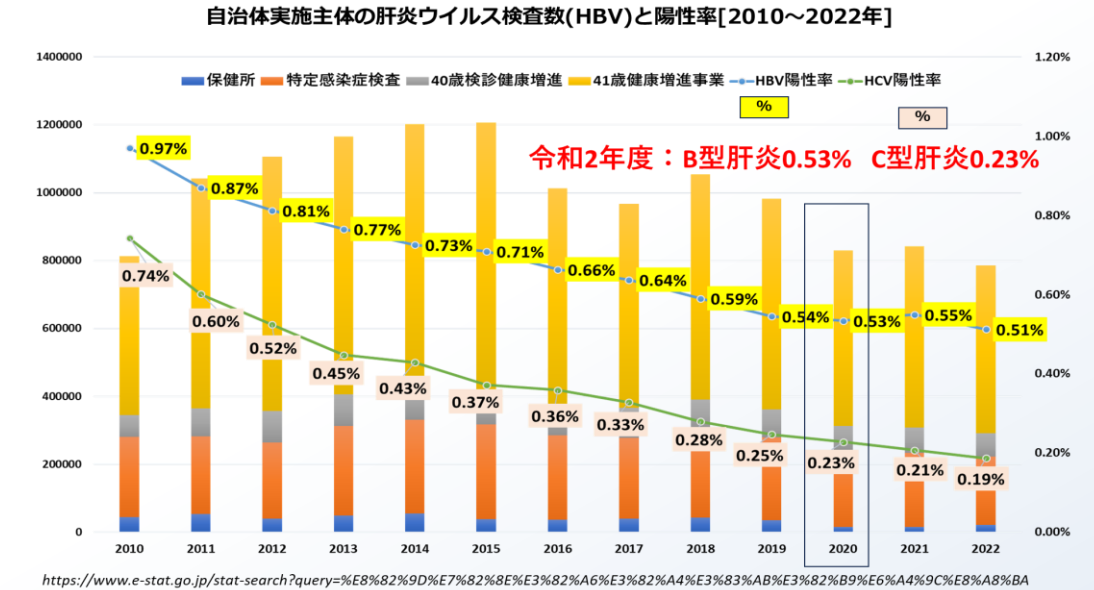
要精密検査率\*      精密検査受診率\*

胃がん検診 (エックス線)	6.3%	81.2%
大腸がん検診 (便潜血検査)	7.7%	68.7%
肺がん検診 (エックス線、喀痰細胞診との併用含む)	2.1%	82.3%
乳がん検診 (マンモグラフィー)	5.9%	90.1%
子宮頸がん検診 (細胞診)	2.2%	76.7%

\*令和2年度調査

\*[https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fganjoho.jp%2Freg\\_stat%2Fstatistics%2Fstat%2Fscreening%2Fexcel%2FPref\\_Cancer\\_screening\\_process\\_indicator\(2008-2020\).xlsx&wdOrigin=BROWSELINK](https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fganjoho.jp%2Freg_stat%2Fstatistics%2Fstat%2Fscreening%2Fexcel%2FPref_Cancer_screening_process_indicator(2008-2020).xlsx&wdOrigin=BROWSELINK)

肝炎ウイルス検査における要精密検査率 = 陽性率



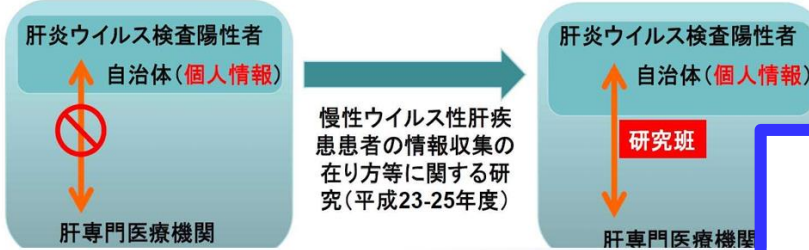
肝炎ウイルス検査要精密受診率  
(陽性判定者なかで医療機関を受診した率)      ? ?

改めてフォローアップとは↓  
 受検 → 「**受診**」 ? → 受療 → **継続受診**  
 ↑ 検査数・陽性率                      ↑ 治療費助交付数



# 背景2: 受診率確認向上システム展開困難→好事例探索 (大阪)

## 高度の個人情報のため確認が困難



## 検査時に精密検査受診状況確認することに同意して受検 + 精密検査報告書

肝炎ウイルス検診申込書 (B型肝炎・C型肝炎)

受付番号: \_\_\_\_\_  
 検査日: 平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日  
 医療機関名: \_\_\_\_\_

検診を申込みされる皆様へ (必ずお読みください)

(様式4) 大阪府指定肝炎専門医療機関 様

診療結果通知書につきまして、精密検査実施後1か月以内に、下記送付先まで送付願います。

平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

診療結果通知書

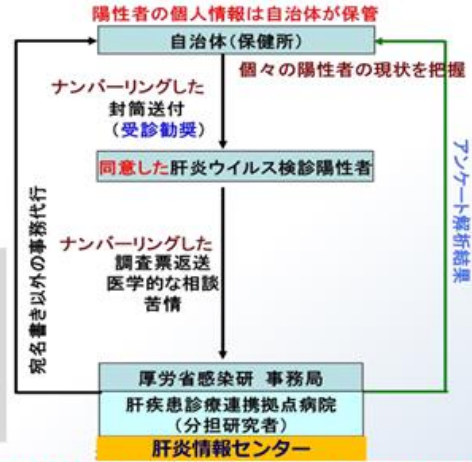
### 検診を申込みされる皆様へ (必ずお読みください)

この肝炎ウイルス検診は、ウイルス感染を早期に発見し、府民の皆様々に適切な医療を受けていただくことで、ウイルスによる健康障がい回避や肝がんの発生を予防することを目的としております。

### 留意事項

- この肝炎ウイルス検診は、大阪府民で、20歳以上の、肝炎ウイルスの検査を受けたことのない方に対して、無料で実施するものです。(大阪市及び、堺市在住の方を除く)
- 本検査で感染している可能性が高いと判定された方は、大阪府指定の専門医療機関で精密検査を受けてください。 (精密検査については、無料ではありません。)
- 大阪府では、本検診事業による治療結果情報を医療機関から集約するとともに、検査結果が陽性だった受診者に対して、大阪府から精密検査や治療の受診状況をお伺いすることや専門医療機関への受診を勧奨する肝炎フォローアップ事業を実施しております。ご承知おきください。

### 陽性者フォローアップシステム



- 切手付き送付用封筒
- (1) アンケート用紙
  - (2) 受診勧奨を呼びかける手紙
  - (3) 肝疾患相談室の相談体制のリスト
  - (4) 専門医療機関リスト
  - (5) 日本肝臓学会専門医リスト
  - (6) 切手付き返信用封筒

陽性者の個人情報は自治体が管理するシステムから、同意書を取ることで、委託機関でも直接フォローアップできるようになった。

平成23-25年度厚生労働科学研究 慢性ウイルス性肝疾患患者の情報収集の在り方等に関する研究

### 個人情報も配慮したシステムを構築

- ・同意者が少ない
- ・受診調査表郵送にマンパワー必須
- ・返信数も少ない

(6) 肝臓病にかかったことや肝機能が悪いといわれたことがありますか? はい・いいえ・わからない (「はい」の方へ) 年齢

以下、検診機関記入欄【※検査結果について太枠内を○又は数値を記入願います】

HCV抗体半定量検査 抗体価: \_\_\_\_\_

HBe抗体検査 陽性/陰性/測定せず

HCV-RNA定性検査 陽性/陰性/測定せず

HBe-RNA定性検査 陽性/陰性/測定せず

※紹介先が府指定専門医療機関でない場合

◆B型肝炎ウイルスについて (該当欄に○もしくは数値等を記載願います)

1 ウイルス検査	HBe抗原	+	•	-	HBe抗体	+	•	-
HBeV-DNA量	検査法		値		単位			

2 治療予定(複数回答可)  
 インターフェロン ・ 核酸アナログ製剤 ・ 肝保護療法 ・ その他

◆今後の方針  
 ① 当院で治療及び経過観察 ② 他院へ紹介(紹介先: \_\_\_\_\_) ③ 終了

◆その他 (連絡事項等ありましたらご記入ください)

◆診療結果通知書送付先  
 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
 大阪府健康医療部保健医療室 健康づくり課 あり  
 電話 06-6941-0351(代表)

# 肝炎ウイルス検診・検査も「がん予防」

→最も検査が進んでいる自治体検診陽性者の医療機関受診率を明らかにしたい

千葉県：2015年～受診確認率調査25%→50% 赤枠未受診・未確認

	B型肝炎ウイルス検診								
	陽性者①	同意者②	医療機関受診済(1)③	医療機関未受診(2)	その他(未回答等)(3)	事業参加者以外の受診確認済数④	医療機関受診済計⑤(③+④)	フォローアップ同意率②/①	受診確認済率⑤/①
H27	461	64	57	5	2	64	121	13.9%	26.2%
H29	378	98	66	9	23	31	97	25.9%	25.7%
H28	395	106	66	17	23	50	116	26.8%	29.4%
H30	442	172	106	37	29	43	149	38.9%	33.7%
R1	375	166	80	21	32	43	123	44.3%	32.8%
R2	260	145	82	28	34	46	128	55.8%	49.2%

	C型肝炎ウイルス検診								
	陽性者①	同意者②	医療機関受診済(1)③	医療機関未受診(2)	その他(未回答等)(3)	事業参加者以外の受診確認済数④	医療機関受診済計⑤(③+④)	フォローアップ同意率②/①	受診確認済率⑤/①
H27	234	35	33	2	0	32	65	15.0%	27.8%
H29	214	62	42	6	14	14	56	29.0%	26.2%
H28	231	74	50	6	18	17	67	32.0%	29.0%
H30	223	91	62	11	18	30	92	40.8%	41.3%
R1	140	72	39	3	21	13	52	51.4%	37.1%
R2	119	64	49	5	12	19	68	53.8%	57.1%

ウイルスが体内にいるのが、いないのが、知らないままでいいですか？



一生に一度は  
肝炎ウイルス検査で  
**がん予防**

希望すれば、会社の健診と一緒に受けられる場合があります。検査当日は、いつもと同じ血液採取です。

C型肝炎ウイルスは、飲み薬で排除できます。効果は95%以上

仕事を休む必要はありません。最短2か月でC型肝炎ウイルスを排除できます。副作用はほとんどありません。B型肝炎ウイルスも飲み薬でコントロール可能です。

この項目をチェック！

過去の会社の健診ですでに肝炎ウイルス検査をしていることもあります。結果表をお持ちの方は右の項目をご確認ください。(+)は肝炎ウイルス陽性です。

HBs抗原(+)-

HCV抗体(+)-

厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業  
「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

これまで多くの肝炎ウイルス検査を施行  
↓  
陽性者数減少  
↓  
肝炎ウイルス撲滅を達成するには  
↓  
他のがん検診同様陽性者受診状況把握がより重要では

- ・個人情報配慮
- ・負担軽減
- ・簡便

川崎市と社会実証

多くの自治体が調査送付・電話で確認→返信がない・頻回の電話)

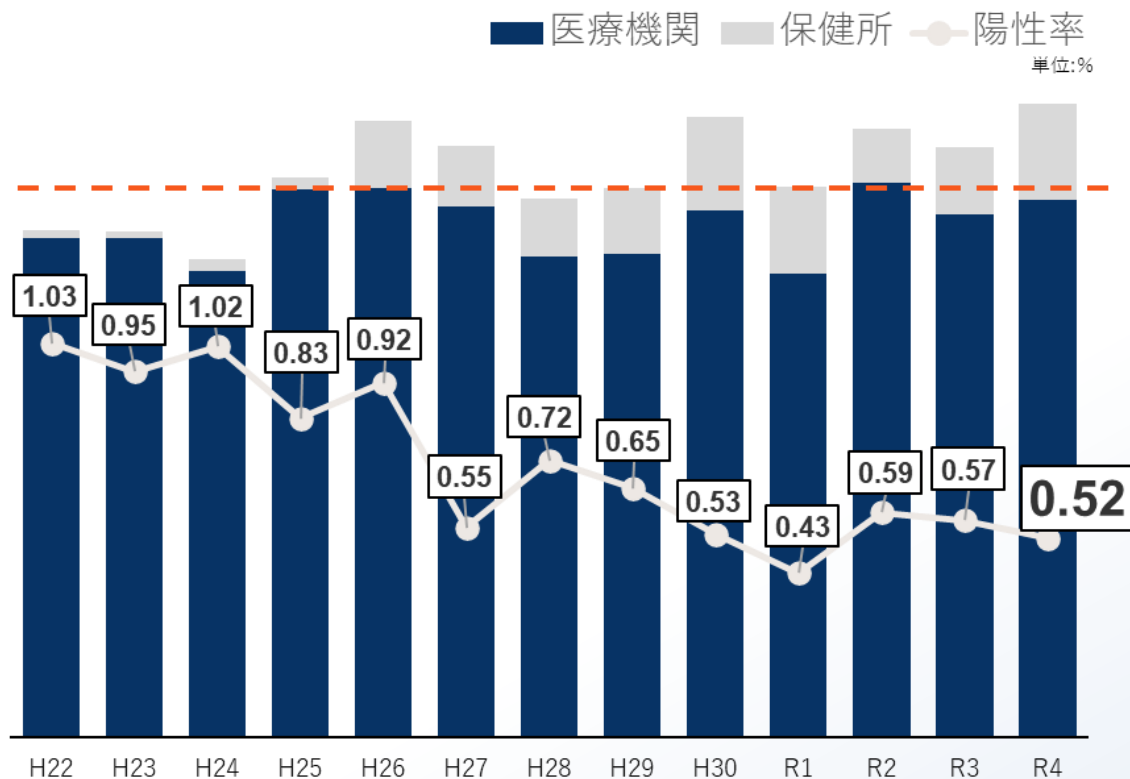
\* 令和5年度肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究 研究代表者報告書より



# 川崎市検査数・陽性率の推移→検査数1万件+陽性率はほぼ全国平均+陽性者数減少

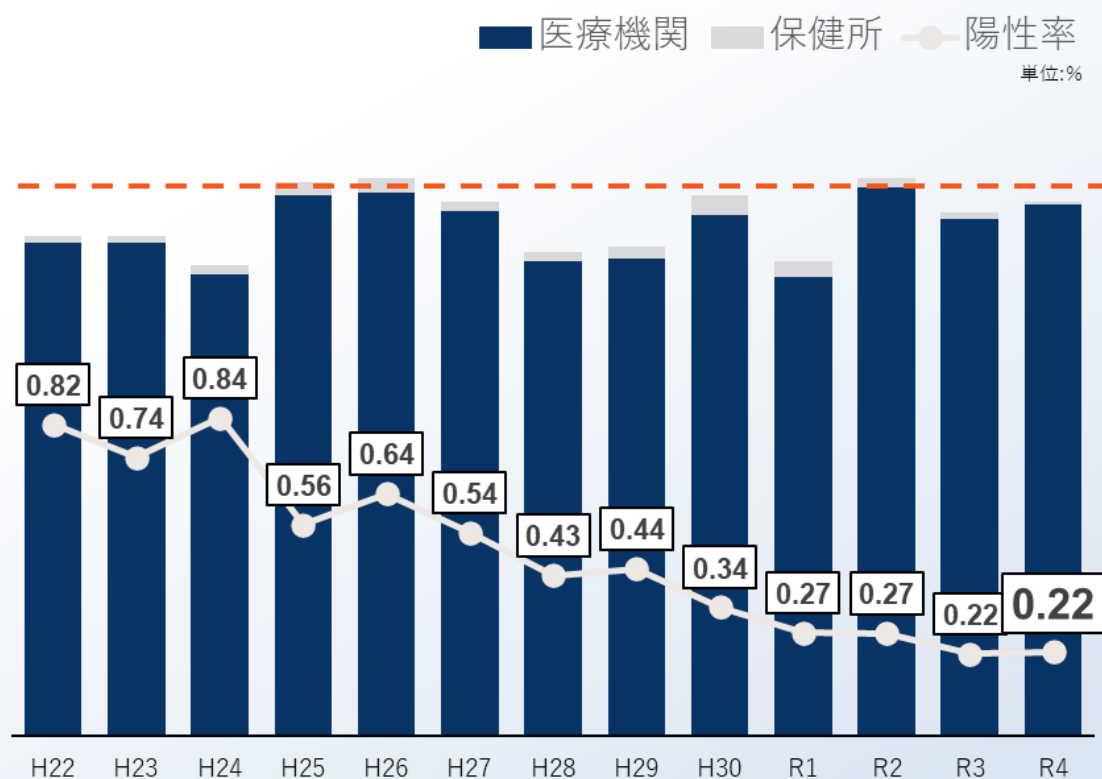
## HBV

受検者数は**10,000**件超を推移  
低下していた陽性率はR2年度に増加後**再び低下**



## HCV

受検者数は**10,000**件前後を推移  
陽性率はH26年度以降**低下**



陽性者数: **95**

→ **60**

**76**

→ **22**

\* 令和5年度肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究 研究代表者報告書より

# 川崎市と研究班 1 → 2014年から連携開始

肝硬変・肝がん進展を減少させるために検査促進だけでなく陽性者を確実に医療機関へつなげたい！

## 陽性者精密検査受診率状況の確認方法 (従前)

陽性者減少し負担減  
保健師1名で対応

同意有 + 陽性判明



精密検査費用助成の案内送付(受診勧奨1回目)

受検後約2~3か月後



- ・精密検査費用助成の案内と申請書
- ・神奈川県あての封筒
- ・啓発資材などを同封して送付

調査票の送付 & 定期検査費用助成の案内送付(受診勧奨2回目)

受検後約1年6か月後



(返信のあった調査票から  
専門医受診確認有で調査終了)

調査票の返信がなかった方に架電し受診状況確認

\* 新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より

# 川崎市と研究班の取り組み2:

受診状況確認調査表を返信しない・電話を取らない→未把握者が増加

## 陽性者精密検査受診率状況の確認方法 (従前)

調査票の送付 & 定期検査費用助成の案内送付(受診勧奨2回目)

受検後約1年6か月後



(返信のあった調査票から  
専門医受診確認有で調査終了)

調査票の返信がなかった方に架電し受診状況確認

フォローアップ同意者における調査票の返信率(H29~H30上半期)

	H28	H29	H30(上半期)
HBV	36.2%	17.0%	12.5%
HCV	33.3%	20.0%	7.7%

- 1.年々返信率低下
- 2.残り約80%の方に架電
- 3.架電してもでない

\* 新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より

# 川崎市と研究班の取り組み3:

## 陽性時には受診確認をすることをお伝えして受検 + QRコード活用 + 検査委託医療機関連携

同意有 + 陽性判明



精密検査費用助成の案内送付(受診勧奨1回目)

受検後約2~3か月後



QRコードを記載したハガキを発送

受検後約1年後



回答がなかった陽性者が検査を受検した医療機関に架電



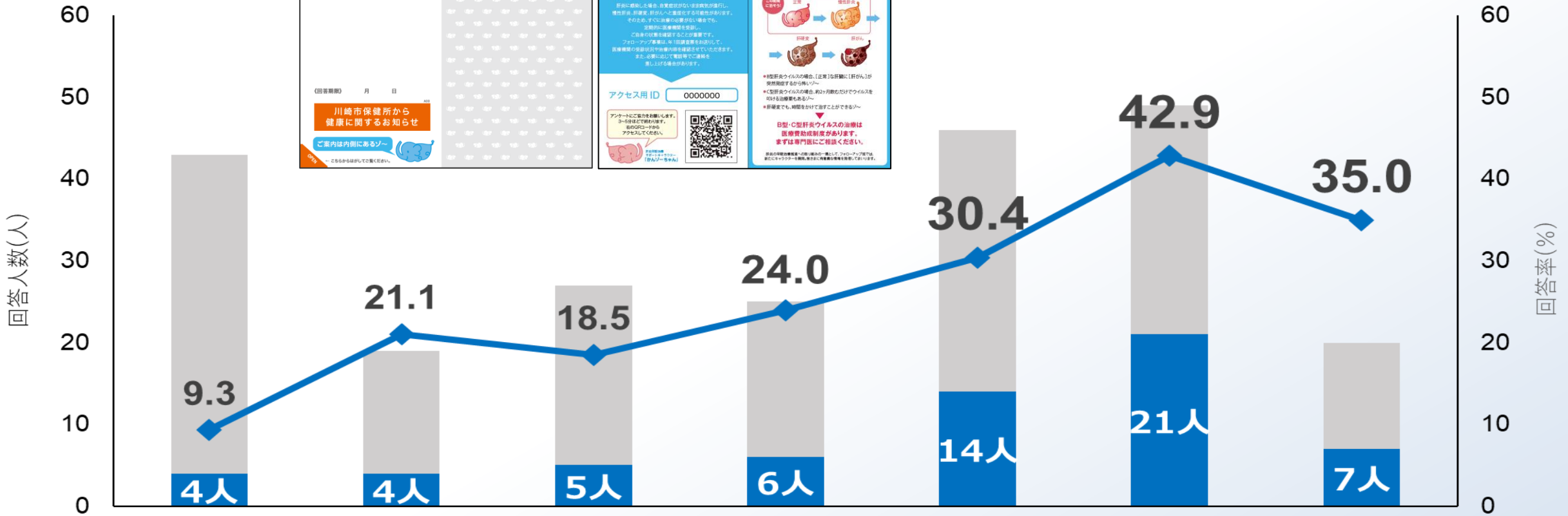
把握できなかった方に架電し受診状況確認

様式1-2	令和5年度肝炎ウイルス検査 申込書・記録票	【実施医療機関控】
検査の目的及び確認事項		
■この肝炎ウイルス検査は、川崎市が医療機関に委託し実施している事業です。		
■この申込書・記録票及び検査結果が川崎市に提供されること、検査の結果、「肝炎ウイルスに感染していること」が判明した場合は、フォローアップ事業により調査票の送付や受検した医療機関への確認等により、精密検査や治療の受診状況をお伺いし、必要に応じて専門医療機関への受診を勧奨することについて御了承ください。		
■なお、検査の結果、「肝炎ウイルスに感染していること」が判明した場合には、肝臓専門医療機関で必ず精密検査を受けてください。		
検査の目的及び確認事項に了解及び同意した上で、検査を申し込みます。		



# 川崎市と研究班の取り組み4: QRコードに変更 コロナ禍に関わらず年々返信者が増加

## QRコードによるWEBでの受診状況回答者数及び回答率の推移



H30年度下半期 H31年度上半期 H31年度下半期 R2年度上半期 R2年度下半期 R3年度上半期 R3年度下半期

■ 回答数    ■ 未回答数    ◆ 回答率

\* 新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より

# 川崎市と研究班の取り組み5-1:検査委託医療機関との連携（実施方法）

## 陽性を指摘された検査医療機関への精密検査受診状況の確認



WEB上での回答がなかった対象者に対して  
**受検した医療機関に電話連絡実施。**



医療機関から肝臓専門医療機関に出した  
**紹介状の返事**の状況や**継続受診**の状況を確認。



WEB上での回答がなかった対象者の  
**約50～75%**の精密検査受診状況を確認できた。

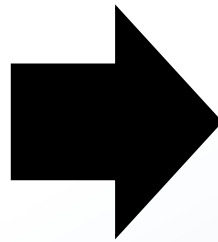
# 川崎市と研究班の取り組み5-2:検査委託医療機関との連携（負担軽減）

## 陽性を指摘された検査医療機関への精密検査受診状況の確認

**before**

電話しても出ない…

医療機関にフォローアップ事業を理解してもらいづらかった



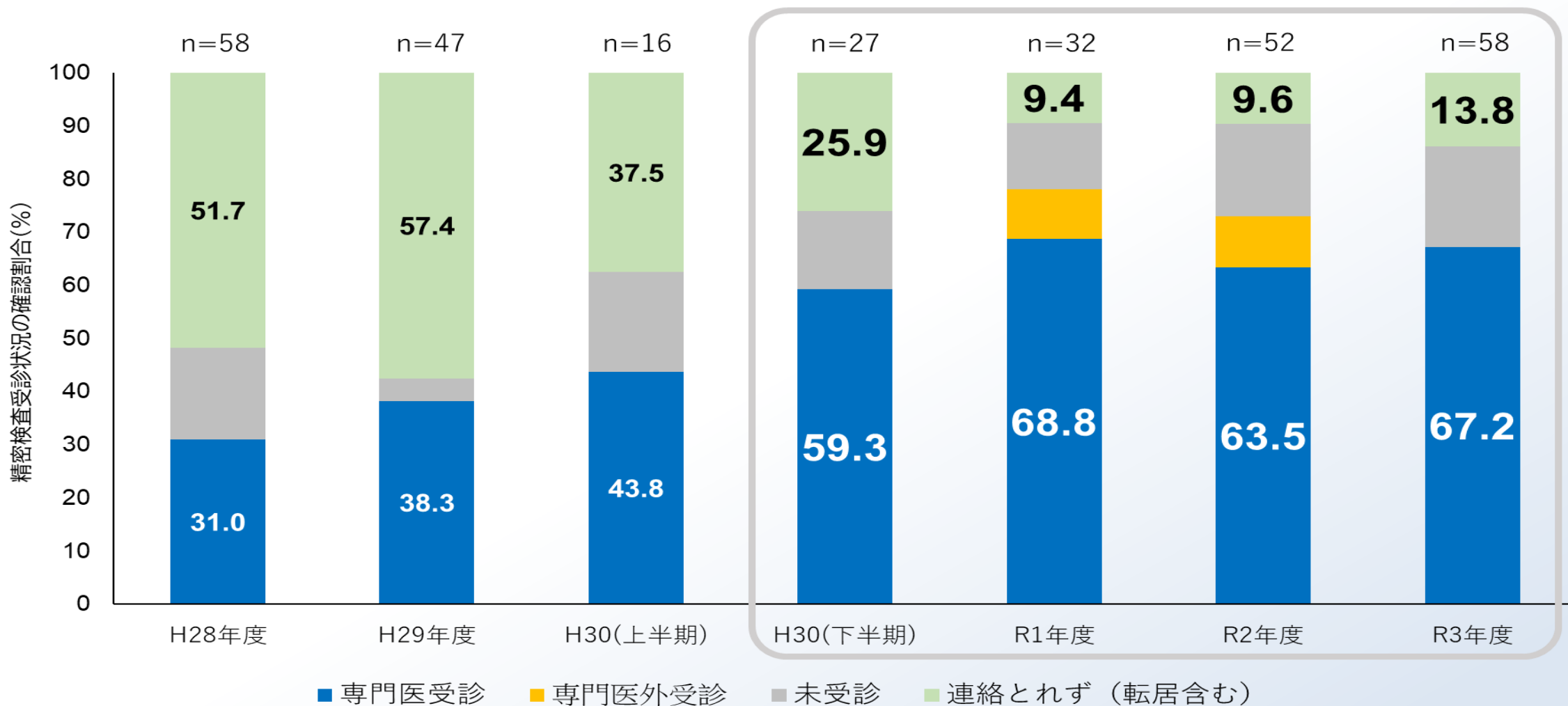
**after**

医療機関に電話をすることで  
**絶対**つながる！

フォローアップの周知になる。  
→より精密検査につなげようとしてくれる。

# 川崎市と研究班の取り組み6-1:検査委託医療機関との連携（受診状況）

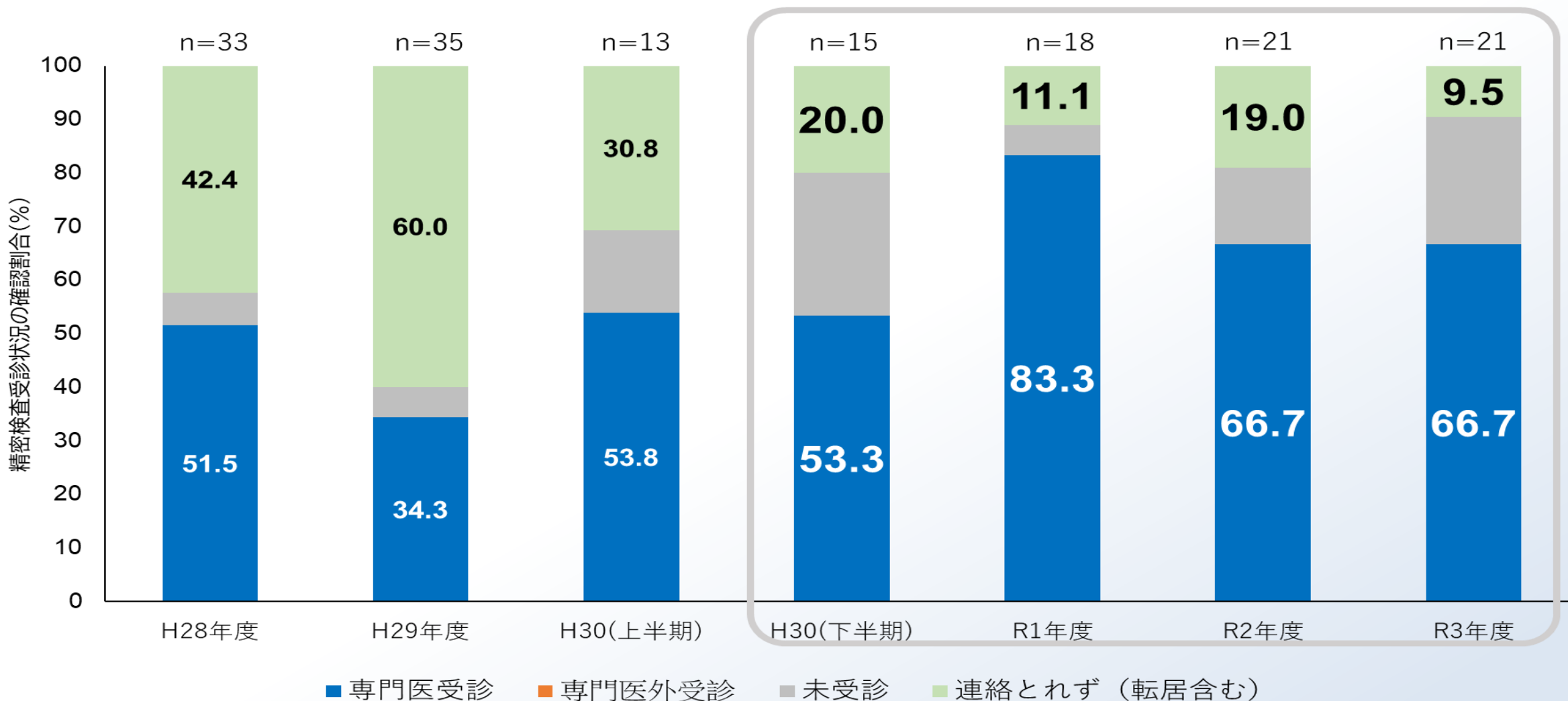
## 陽性者医療機関受診状況確認の実施状況(HBV)



\* 新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より



## 陽性者受診状況確認の実施状況（HCVAb）



\* 新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より

# 川崎市と研究班の取り組み:まとめと今後

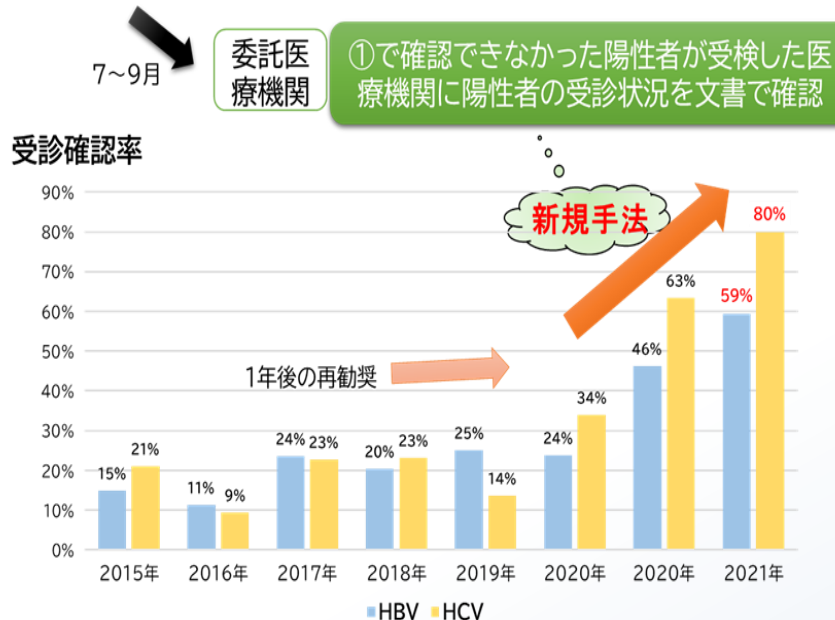
・同意方法変更 + QRコード + 検査委託医療機関への確認を取り入れたことで、業務負担は増加することなく、連絡をとれずに受診状況を把握できなかった陽性者を減らすことができ、受診状況の把握率が大幅に増加した

・検査委託医療機関連携は全国展開中で受診確認率向上を示しており、更なる展開を目指す

北海道A市 受診確認率30%→60~80%

千葉県A市 受診確認率10%→60~70%

県・研究班共催して市町村向けに紹介



HBV	陽性者①			医療機関受診済計 ⑤ (③+ ④)	受診 確認率 ⑤/①
	医療機関 未受診 (2)	その他 (未回答 等) (3)			
H28	69	0	0	6	8.7%
H29	53	0	2	3	5.7%
H30	49	0	4	7	14.3%
R1	60	0	4	8	13.3%
R2	34	1	7	13	38.2%
R3	32	1	4	22	68.8%
R4	32	2	0	21	65.6%

令和4年度 愛知県肝炎対策調査実施結果説明会 プログラム

日時: 令和5年2月27日(月) 15時から16時45分  
会場: Webシステム (cisco webex meeting) を用いたWEB開催

16時~16時20分

川崎市における肝炎検査陽性者受診確認率改善への取り組み

川崎市健康福祉局保健医療政策部

今井 治彦

16時20分~16時25分

川崎市における肝炎検査啓発活動

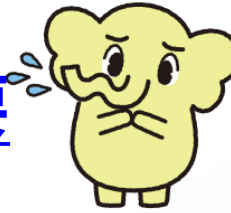
川崎市健康福祉局保健医療政策部

部長 小泉 祐子

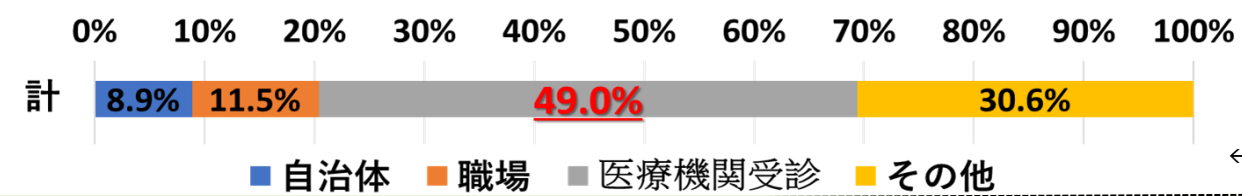
愛知県・広島県実施・宮城県予定

\* 令和5年度肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究 研究代表者報告書より

**病院内肝炎ウイルス陽性者受診促進  
(日本眼科医会との連携)**



# 7県 治療費助成受給者のウイルス検査陽性が判明した契機(2020)



## →医療機関での拾い上げが重要

←R4新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より

## ★電子アラートシステムは陽性者に紹介に有用+水平展開と報告

H26効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究 総括報告書より

### 非反応医師→対策① 医療安全部と連携

#### 肝炎ウイルス陽性患者の受診勧奨

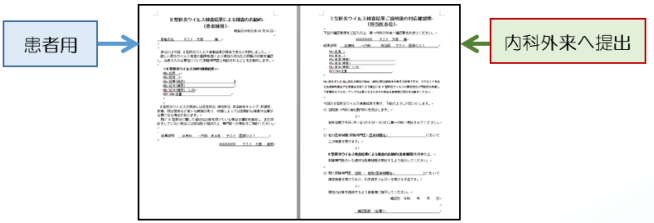
①以下の検査結果が陽性 (+) の場合には電カルのアラートシステムで表示されます

HCV抗体、HCVコア蛋白、HCV-RNA定量  
HBs抗原、HBs抗体、HBs抗原(精密)、HBs抗体(精密)、HBe抗体(精密)、HBe抗原(精密)、HBV-DNA定量



②下記文書を出力  
文書作成(共通)  
院内共通→内科受診勧奨

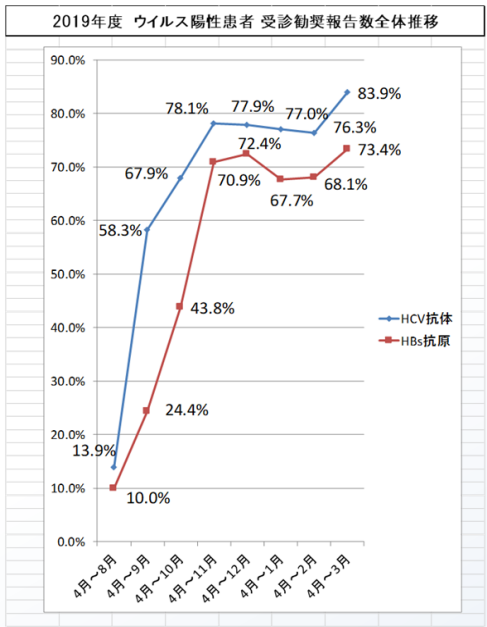
●この文書を一度印刷すると、アイコンが消えます。再度ウイルス検査を行い結果が陽性であっても、アラートのアイコンは表示されません



③結果に基づき、検査陽性であることを肝精査を勧めることを説明

アラートシステムがうまくいかない場合

医療の質・安全管理部と共同して担当することし、病院運営委員会で各科別の陽性数、対応数を周知



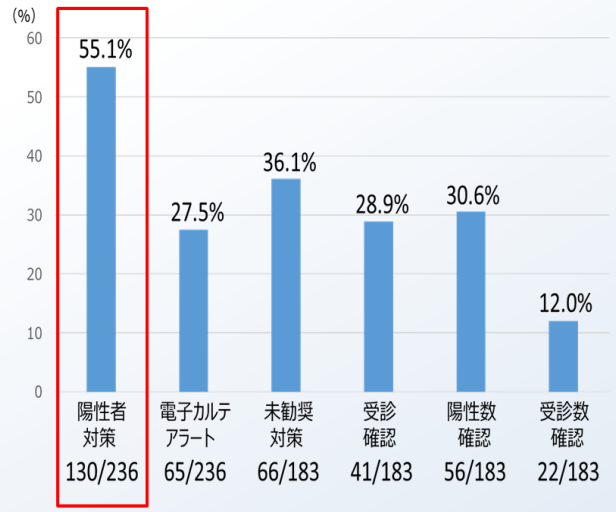
2019年8月より院内安全対策としてから報告率は著明に改善  
肝疾患センター  
医療の質・安全管理部

### 導入不可・非対応施設→対策② 検査技師・肝Coが紹介促進

#### 専門医療機関の非専門医科陽性者対策(12県 約200施設) 45%の施設で対策未・アラートシステム装備30%⇒肝Co養成が重要

拠点病院以外の専門医療機関での肝炎陽性者対策調査

全12県:236施設、埼玉県以外11県:183施設



陽性者対策実施に影響する背景の検討

	単変量 P値	多変量 P値
病床数 (400床未満/以上)	0.0074	0.2065
専門医常勤	0.0079	0.3169
肝炎Co在籍	<0.001	<0.001

(二項ロジスティック回帰分析)

肝炎Co養成がウイルス肝炎陽性者対策に重要である  
電子カルテアラートシステムが費用面で導入しなくても肝Co養成にて受診率を向上



臨床検査技師が肝Coとして活躍すればアラートは必要なし



# 更に効率的に陽性者紹介を促進したい！ → 肝炎ウイルス検査数が多い科は？

## 眼科・整形外科の陽性者対策が重要（泌尿器・消化器外科も）

肝疾患診療連携拠点病院72施設のうち、研究班8拠点病院における非専門医科HCV抗体検査数・陽性率

### 検査数

HCV抗体 検査数ランキング			
	診療科名	検査数	施設数
1	眼科	40,192	7
2	産婦人科	32,173	6
3	整形外科	25,022	5
4	歯科口腔外科	13,206	8
5	泌尿器科	12,976	3
6	消化器外科	9,526	2
7	皮膚科	3,949	1
参考	その他	281,525	—

### 陽性率

HCV抗体 陽性率ランキング			
	診療科名	陽性率	施設数
1	消化器外科	2.71%	2
2	整形外科	2.57%	5
3	眼科	2.51%	7
4	泌尿器科	1.96%	3
5	歯科口腔外科	1.53%	8
6	皮膚科	1.44%	1
7	産婦人科	0.65%	6
参考	その他	2.48%	—

注：消化器外科2施設 泌尿器科3施設のみ上位にランキング

## それではどの様に眼科・整形外科に働きかけるのか？

# 眼科への介入状況①⇒眼科医が肝臓専門医に紹介するのに必要な改善点は？

## 日本眼科医会と連携しアンケート調査→患者さんへの説明資材など

### 2021年度 眼科医会の事業計画へ

日眼医誌企業第15号  
令和3年1月12日

厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業  
「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究班」 代表者  
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 室長  
是永 区紹 殿

公益社団法人 日本眼科医会  
会 長 白根 隆子  
常任理事 今本 昌久

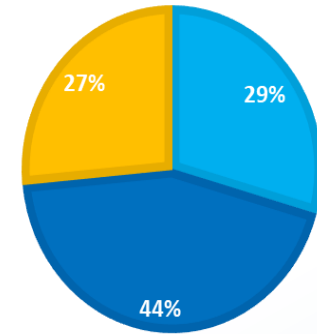
令和2年度 厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業  
「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究班」  
への協力依頼について (回答)

拝復

令和2年12月24日付け書面をもってご依頼のありました様記の件について、本会  
理事会で審議の結果、これを了承いたしましたので、ご回答いたします。  
よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

- 肝炎ウイルスの治療薬として、副作用が殆どない経口薬が主に使用されているのをご存じですか  
■ よく知っている ■ 少し知っている ■ 知らない



眼科医会5支部にアンケート (2021年)

75%が肝炎ウイルスが経口薬であることは認識済み

- 肝炎ウイルス陽性者を紹介する上で必要な改善点をお聞かせください (複数回答可)



最新治療+紹介して・・・というだけでなく  
眼科医の立場に立つことが必要

# 眼科への介入状況②⇒眼科医で肝炎対策を推進している先生は？

## 佐賀のM眼科では肝Coが研究班成果物を用いて退院前に説明



	手術および注射 総件数 (件)	手術および注射 患者数 (人)	採血結果が陽性患者数 (人)		紹介患者数 (人)		採血結果陽性患者割合 (%)		採血結果が陽性患者のうち 紹介した患者の割合(%)	
			B型	C型	B型	C型	B型	C型	B型	C型
2013年	1,875	1,165	16 (0)	100	3	1	1.4% (0%)	8.6%	18.8%	1.0%
2014年	2,047	1,221	23 (0)	99	5	24	1.9% (0%)	8.1%	21.7%	24.2%
2015年	2,365	1,268	19 (3)	98	2	29	1.5% (0.2%)	7.7%	10.5%	29.6%
2016年	2,602	1,375	9 (0)	87	2	42	0.7% (0%)	6.3%	22.2%	48.3%
2017年	2,560	1,281	21 (0)	74	8	25	1.6% (0%)	5.8%	38.1%	33.8%
2018年	2,752	1,684	36 (2)	97	9	27	2.1% (0.1%)	5.8%	25.0%	27.8%
2019年	2,829	1,678	32 (1)	90	6	22	1.9% (0.1%)	5.4%	18.8%	24.4%
2020年	2,914	1,654	41 (3)	70	1	29	2.5% (0.2%)	4.2%	2.4%	41.4%
2021年	2,849	1,618	32 (3)	97	4	25	2.0% (0%)	6.0%	12.5%	25.8%
2022年	2,828	1,591	36 (1)	88	0	22	2.3% (0%)	5.5%	0.0%	25.0%
2023年	2,877	1,592	44 (2)	91	3	33	2.8% (0%)	5.7%	6.8%	36.3%
平均	2,562	1,454	27 (1)	90	4	25	1.8% (0.1%)	6.2%	15.1%	27.3%

佐賀県： M 眼科で作成された  
検査結果フローチャート

C型肝炎陽性率5~6%→  
一時期は40%紹介対応も現在は20%程度

\* 新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究 総括報告書より







# 眼科への介入状況④⇒眼科医/スタッフ主導での検査結果説明・陽性者作成 説明フローチャート・チェックシート・結果説明用紙作成・眼科医ではなくスタッフでも説明可能

群馬大学眼科

## 院内における取組

2020年10月 肝炎医療コーディネーターの養成 肝Co: 医療事務

2020年12月 術前チェックリストを変更  
検査結果の説明と陽性者の院内紹介を徹底

2021年4月 陰性のお知らせ資材の運用開始

2021年6月 啓発資材(レンズ拭き)の設置

2021年9月 陽性者の紹介漏れをゼロにすることに成功

約1年で陽性者の紹介漏れをゼロにすることに成功した

# 眼科への介入状況⑤⇒眼科スタッフ主導での検査結果説明・陽性者作成 拠点病院でも非専門医の肝Co配置が進み整形外科等に展開中

## 眼科staffを肝Co配置→紹介率向上

院内 令和4年6月分までの陽性者の対応状況について。

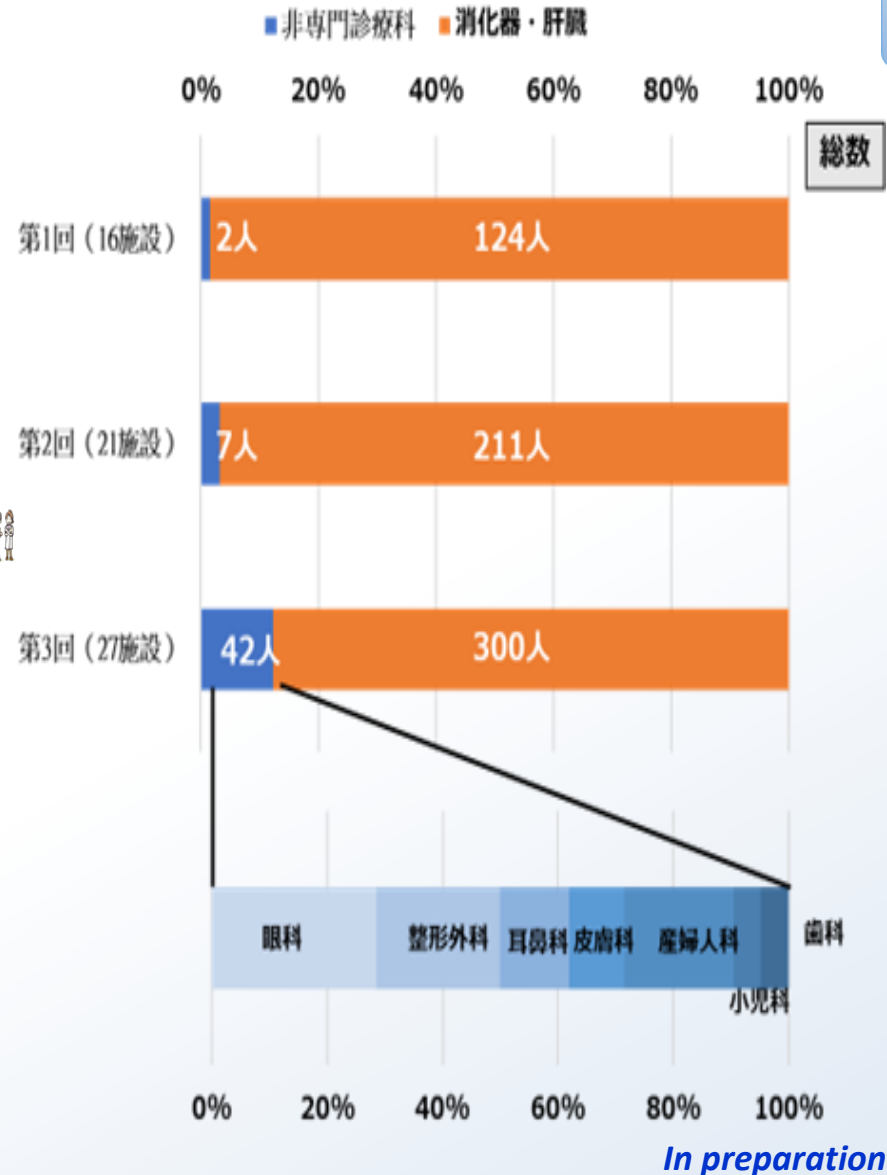
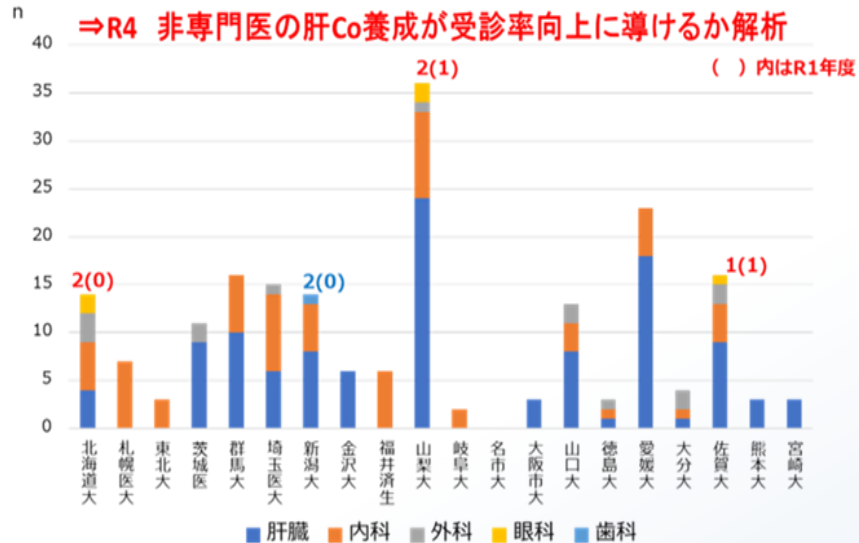
肝Co配置

大原 是永  
肝臓 2023

眼科	H28.1-H30.12	H31	R2	R3	H31-R3.12	R4.6
陽性者数, 人	87	39	29	30	98	27
紹介数, 人 (率, %)	13(14.9%)	7(18.0%)+3	4(13.8%)+4	8(26.7%)	26(26.5%)	5(18.5%)
未紹介者数, 人	74	32	25	22	72	22
紹介の必要性あり (要対応者), 人	37	11⇒1	10⇒1	6⇒2	8⇒4	8
要改善率, %	42.5%	28.2% ⇒2.6%	34.5% ⇒3.4%	20.0% ⇒6.7%	8.2% ⇒4.1%	29.6% ⇒現在対応中

※要改善率:陽性者のうち、対応を要する人数の割合

対策診療科外来に肝Co配置  
⇒紹介率の向上と未対応者の減少が持続



拠点病院 (北大病院)

2016年 : 電カルアラート導入

2019年

肝Co配置

: 眼科

2021年

: 整形外科

2022年

: 泌尿器科

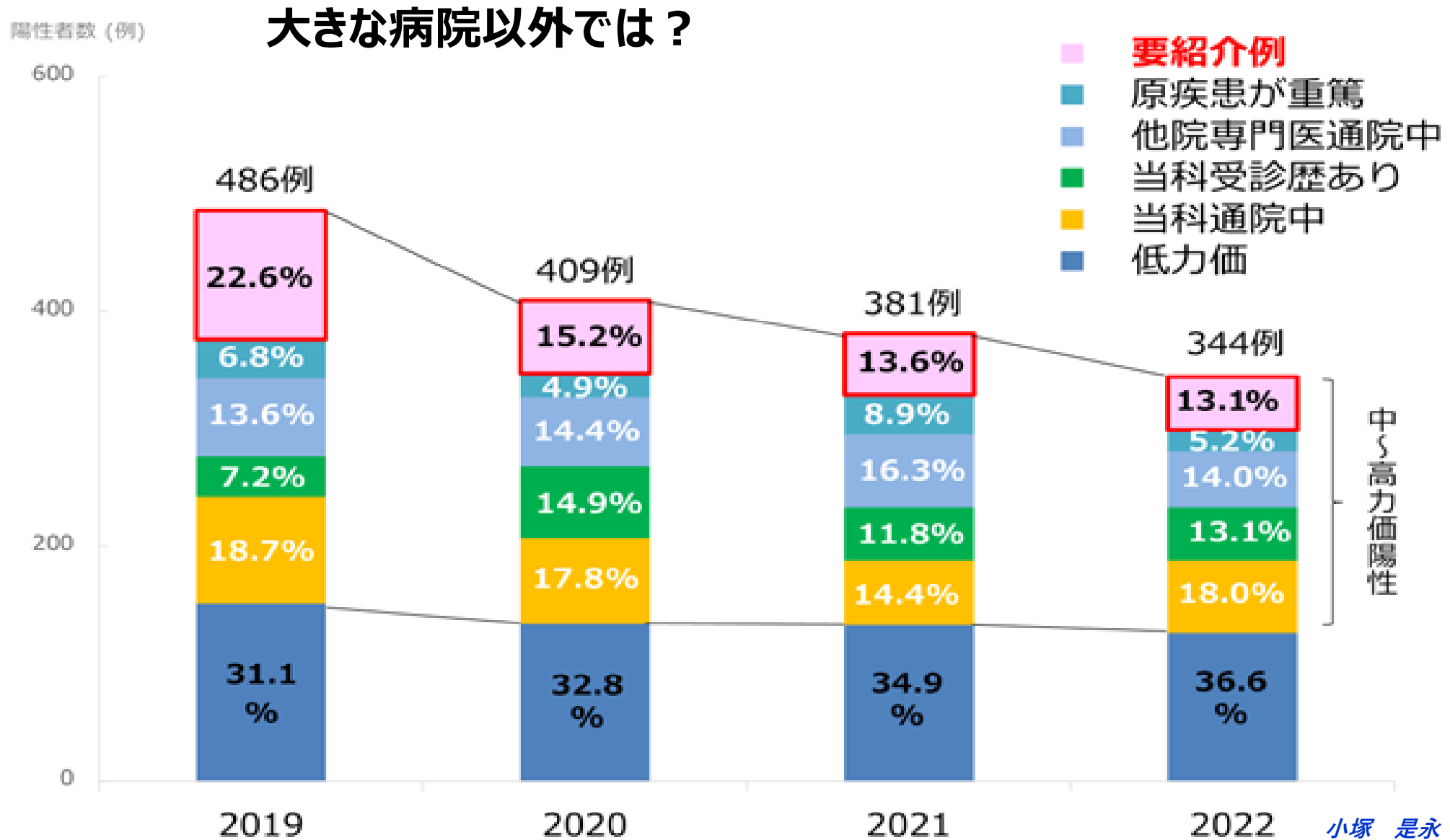
2023年

: 外科

陽性者対応

# 術前・入院前肝炎ウイルス陽性者紹介の課題

拠点病院非専門科で肝炎HCV抗体陽性 HCV RNA陰性者等が増加し、受療対象者20%→10%



# 眼科への介入状況⑥⇒クリニックへの展開

手術数の多いクリニックで肝Co養成+資材使用→陽性者受診状況確認中→眼科医会へfeedback

眼科クリニック  
 - HBV 0件  
 - HCV 1件/約60件(1.7%)

治療済

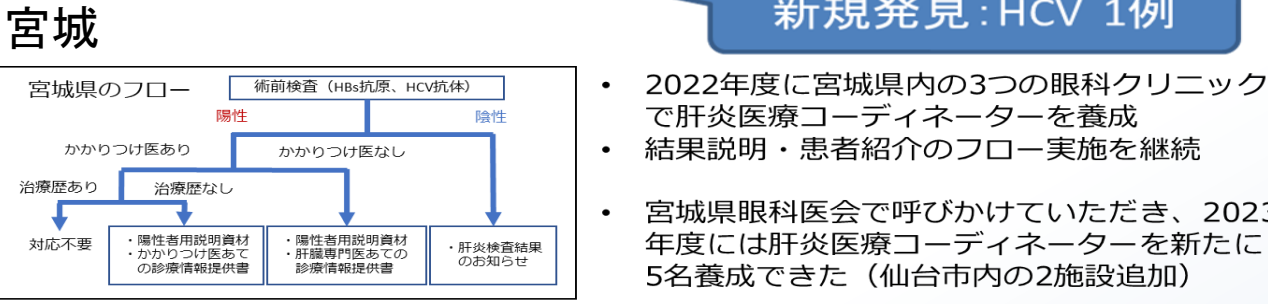
眼科  
 - HBV、HCVいずれも0件/86件、40件、91件

眼科  
 - HBV 0件  
 - HCV 3件/144件(2.1%)

新規発見:HCV 2例

眼科  
 - HBV 0件  
 - HCV 3件/154件(1.9%)

新規発見:HCV 1例



2クリニックの4-9月の検査数: 202件

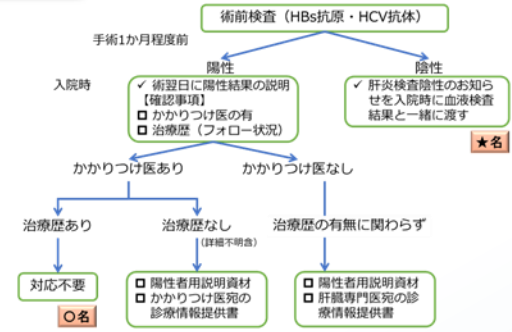
HBs抗原陽性: 5例  
 HCV抗体陽性: 5例  
 →2例を専門医へ紹介  
 2例をかかりつけ医へ紹介



群馬

院外

<フローチャート>



<使用資材>



北海道

協力眼科施設

- ・ A眼科 (R4年9月開始済)
- ・ B眼科 (R5年秋開始済)
- ・ 他の協力施設も随時相談・検討

- 検査件数、陽性者数、紹介数等の把握
- 資材の使用感等の確認

○ 成果 北海道A眼科

- ・ 院外眼科で肝炎陽性者対策を開始、継続中。
- ・ 陽性者数25名(陽性率 HBV1.7%, HCV1.3%)、精査歴がない症例16名の紹介に繋がった。

# 眼科への介入状況のまとめと今後

- ・眼科は高齢者の手術件数も多いためHCV抗体陽性率が高い
- ・QOLが維持しされている患者さんも多く、受療対象者が存在する可能性が高い
- ・会員数15,000人の日本眼科医会と連携を開始（肝炎対策が事業化）され、会報誌への紹介、眼科医・スタッフが必要されるコミュニケーションツールを作成し、陽性者紹介に繋げた
- ・眼科スタッフを肝炎医療コーディネーター養成化することで、陽性者紹介は促進した

## アンケートで調査したい主な内容

- 眼科医会会員の術前肝炎ウイルス検査に対する対応状況（効果判定）
- 眼科医会ホームページ掲載の資材について会員への周知状況の把握
  - ・ 掲載されていることの認識、閲覧の有無
  - ・ ダウンロードの有無
  - ・ 使用の有無
  - ・ 使用者に対しては、使いやすいものか否か

郵送、又はメール  
Google formも?

情報収集

現状把握

周知方法/利活用/資材(作成・修正)

新着情報	総務管理	総務企画	経理	公衆衛生	広報	乳幼児・学校保健	学術	社会保険	医療対策	勤務医・ダイバーシティ
2024年04月01日	医療対策	> 令和6年度コンタクトレンズ販売管理者継続研修eラーニング開催のお知らせ								
2023年08月15日	医療対策	> 肝炎ウイルス検査結果説明時に利用可能な資材の掲載								
2023年05月01日	医療対策	> 【眼視覚方講習会（WEB・オンデマンド）】開催のお知らせ								

医療関係者向け | 公益社団法人 日本眼科医会 (gankaikai.or.jp)

## 今後の展開

- ・眼科クリニックへの水平展開
- ・眼科医/スタッフへの肝炎に関する行動変容、コミュニケーションツール周知状況の調査
- ・陽性者紹介率について調査予定